

公文書管理の在り方等に関する有識者会議（第9回）議事概要

1 日時 平成20年8月1日（金）13：30～15：45

2 場所 中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室

3 出席者

（有識者・50音順、敬称略）

朝倉敏夫、宇賀克也、尾崎護（座長）、加藤丈夫、後藤仁、高橋滋、高橋伸子、野口貴公美

（オブザーバー）

菊池光興国立公文書館長

（政府）

上川陽子公文書管理担当大臣、戸井田とおる内閣府大臣政務官、長屋聡内閣官房公文書管理検討室参事官、同 福井仁史参事官、同 岡本信一企画官、同 七條浩二企画官

4 議事次第

(1) 開会

(2) 各府省からのヒアリング等

①外務省

②財務省

③厚生労働省

④国土交通省

(3) 閉会

5 議事の経過

◎各府省からのヒアリングを実施し、その後、ヒアリングを行わなかった省庁からの意見を事務局から紹介したのち、フリートーキングを行った。

◎各府省からの主な意見は以下の通り。

〈外務省〉

- 中間報告全体への大きな意見はないが、外交史料館は、編纂事業を行うなど、外交政策の一環としての取組を行っている機関であり、国立公文書館とは別の観点でやっている点について配慮いただきたい。
- 公開性審査で不開示となったもので、再審査請求をされたことは今までない。閲覧について処分性を認めることについては疑問がある。

<財務省>

- 移管前と移管後の公開基準が違うので、シームレスな制度を検討してもらいたい。またその際、移管元の判断も尊重してもらいたい。
- 専門人材の確保に当たり、内部人材の養成については、数年ごとに異動がある人事制度の問題もあり難しい。制度官庁で一括して確保した上で各府省に併任で配置したり、再任用制度の活用等を検討してもらいたい。

<厚生労働省>

- 各省共通ではない文書についても、ある程度の基準を示してもらいたい。
- 基準作成や集中管理等について、文書の利用状況は様々であるため、その点の御配慮をいただきたい。

<国土交通省>

- 文書管理の強化のため、定員確保や予算確保への配慮をお願いしたい。

◎フリートキングでの主な意見は以下のとおり。

- 各府省は、当然に非公開になるだろうというもので、公開されるのではないかと心配しているふしがある。整理して共通ルールをきちんと示したほうがいいのではないか。
- 警察庁からは様々な意見が出ており、別途、警察庁から話を聞いてみてはどうか。

◎次回は9月4日（木）10時開催とされ、主にIT化に対応した文書管理等を議題に開催することとなった。

<文責：内閣官房公文書管理検討室（速報のため事後修正の可能性あり）>